

資料

- 〇〇病院
- 〇〇看護部長殿

## 研究参加のお願い

私は、現在聖路加国際大学大学院に在籍し、「急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースの倫理的ジレンマ～倫理的環境を醸成するためのニューロサイエンス看護上級実践看護師の役割～」について研究しております。

本研究を行うにあたり、〇〇看護部長様に以下の内容をご一読頂き、ご理解いただいた上で、研究へのご協力をお願い致します。なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認及び学長の許可と、当院の機関の長の許可を得て実施しております。

### 1. 研究の目的

Stroke Care Unit(以下 SCU)で急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースが、倫理的ジレンマを抱いている事柄(場面)、日々の臨床で患者に看護ケアをする時に倫理的ジレンマを抱いた際に感じたこと、その対応方法、希望する支援内容について質的分析を行い、ニューロサイエンス看護上級実践看護師が倫理的環境を醸成するための示唆を得ることを目的としています。

### 2. 研究の意義

本研究で得た示唆をニューロサイエンス看護上級実践看護師が実践することで、急性期脳卒中看護に関わるナースの倫理的ジレンマを緩和することにつながり、さらに急性期脳卒中患者の看護実践に寄与できると考えております。

### 3. 研究の方法、スケジュール

- 1) 半構造化インタビュー法を用いて、急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースに倫理的ジレンマを生じさせている事柄についてインタビューさせていただきます。
- 2) 研究期間  
本研究の研究期間は当院の機関の長による実施許可後～2022年9月30日を予定しています。

### 4. 研究対象者及びご協力内容

- 1) 研究対象者

急性期脳卒中病棟での看護師経験年数が、1年目、2年目、3年目から4年目、5年目から9年目、10年目以上の各年代から1名以上、合計で5名以上としています。

#### 研究対象者の設定理由

本研究では、臨床経験で身についた実践的知識を持つ看護師にインタビューしたいと考えているため、役職や専門の資格を有する専門看護師・認定看護師は除外します。

#### 2) 研究協力依頼内容

- (1) 「事前質問用紙（資料3）」に回答して頂きます。記載時間は、およそ15分程度です。
- (2) インタビューは、およそ60分を予定しており基本的には、「事前質問用紙（資料3）」に記載されている質問に沿ってインタビューを実施致します。

#### 5. 倫理的配慮

- 1) 本研究への研究協力は、研究対象者の自由意思に基づくものであり、一度研究協力への同意をしても、いつでも撤回できることを保障致します。不参加および途中での撤回によって生じる不利益は一切ございません。
- 2) 研究協力同意の有無についてメールもしくは電話で返答を頂いた後、研究の同意が得られた場合は、研究責任者からSCU病棟の師長に「研究参加のお願い（資料2）」を用いて研究の概要と研究協力について説明し、「研究参加のお願い（資料2）」を病棟に掲示して頂くように依頼し、研究対象者を公募致します。
- 3) COVID-19の感染状況を鑑みて基本的にはWEBでインタビューを実施致しますが、インターネット環境が整わない場合には、対面で実施致します。
- 4) 事前質問用紙へのご回答とインタビュー時間を合わせて約75分程度の時間的制約とWEBインタビューでの通信料、対面で実施した場合の会場までの交通費の金銭的負担に関しましては、WEBインタビューの場合は、指定の住所に2000円のクオカードを郵送致します。対面で実施した場合は、インタビューが終了した際に交通費と共に2000円のクオカードを直接手渡しさせていただきます。
- 5) 収集したデータ及び分析で得た情報は個人が特定できないように、符号化して管理致し、分析時は符号で扱うことを徹底致します。研究終了後の5年間は、収集したデータ、分析内容は研究責任者施設内の鍵のかかる保管庫で保管し、鍵は研究責任者が厳重に管理し、5年目以降はシュレッターにて裁断し、情報漏洩を防止致します。
- 6) 本研究に研究参加して頂くことによる直接的な利益はありませんが、インタビューを通して臨床での看護実践を振り返る機会となり、看護観や倫理観を見直すことで看護実践の質の向上につながる可能性があります。不利益としては、インタビューを通して倫理的ジレンマを生じさせている事柄を語ってもらうため、身体的精神的不調を感じ

る可能性があります。そのため、インタビュー時は心身の体調に合わせてインタビューをしていくと共に適宜休憩を入れながら実施致します。加えて、時間管理の徹底やインタビューを中断したい場合は、いつでも中断できます。WEB のインタビューで体調変化が起こり、受診が必要な場合には、直ちにインタビューを中止して受診をお勧め致します。対面でのインタビューの場合で受診が必要な場合には、受診に付き添わせて頂きその際の医療費は研究者が担保致します。

- 7) 本研究を学会や学術論文に投稿する際、個人を特定できない様に匿名加工の措置をし、個人情報の保護に留意致します。
- 8) 試料・情報の二次利用  
現時点では計画しておりませんが、将来このデータを利用して研究が行われる場合に二次利用をする可能性があります。こうした二次利用をする際は改めて当法人の研究倫理審査委員会へ申請し、承認された場合のみ実施致します。
- 9) 本研究は私費により実施しており、利益相反の状況については、研究責任者が聖路加国際大学の研究利益相反管理委員会へ利益相反申告書を作成・提出し、適切な管理を受けております。

本研究についてご質問がありましたら、いつでも下記連絡先までお問い合わせください。また、研究計画書及び研究の方法に関する資料をご希望の場合も研究責任者までご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内でご覧いただけます。

研究責任者：高柳 知美

所属：聖路加国際大学大学院看護学研究科 ニューロサイエンス看護学専攻

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

電話：090-2222-0634

メールアドレス：mailto:20mn020@slcn.ac.jp

指導教員：大久保 暢子

所属：聖路加国際大学大学院看護学研究科

ニューロサイエンス看護学 教授

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

電話：03-3543-6391

メールアドレス：nobu-okubo@slcn.ac.jp

〇〇病院  
〇〇様

## 研究参加のお願い

私は、現在聖路加国際大学大学院に在籍し、「急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースの倫理的ジレンマ～倫理的環境を醸成するためのニューロサイエンス看護上級実践看護師の役割～」について研究しております。日々の臨床で患者に看護ケアをする時に倫理的ジレンマを感じる事柄について語り頂きニューロサイエンス看護上級実践看護師が倫理的環境を醸成するための示唆を得たいと考えております。

つきましては、本研究を行うにあたり、以下の内容をご一読頂いた上で、研究へご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認及び学長の許可と、当院の機関の長の許可を得て実施しております。

### 1. 研究の目的

急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースが、日々の臨床で患者に看護ケアをする時に倫理的ジレンマを抱いている事柄（場面）、倫理的ジレンマを抱いた際に感じたこと、その対応方法、希望する支援内容について質的分析を行い、ニューロサイエンス看護上級実践看護師が倫理的環境を醸成するための示唆を得ることを目的としています。

### 2. 研究の意義

本研究で得た示唆をニューロサイエンス看護上級実践看護師が実践することで、急性期脳卒中看護に関わるナースの倫理的ジレンマを緩和することに繋がり、さらに急性期脳卒中患者の看護実践に寄与できると考えております。

### 3. 研究の方法、スケジュール

3) 半構造化インタビュー法を用いて、急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースが日々の臨床で患者に看護ケアをする時に倫理的ジレンマを感じる事柄についてインタビューさせていただきます。

### 4) 研究期間

本研究の研究期間は当院の機関の長による実施許可後～2022年9月30日を予定しています。

### 4. 研究対象者及びご協力内容

#### 3) 研究対象者

急性期脳卒中病棟での看護師経験年数が、1年目、2年目、3年目から4年目、5年目から9年目、10年目以上の各年代から1名以上、合計で5名以上としています。

#### 研究対象者の設定理由

本研究では、臨床経験で身についた実践的知識を持つ看護師にインタビューしたいと考えているため、役職や専門の資格を有する専門看護師・認定看護師は除外します。

#### 4) 研究協力依頼内容

研究に同意して頂ける場合は、お返事を頂いた翌日までにご指定のメールに「事前質問用紙（資料3）」を送信致します。記載時間は、およそ15分程度になります。お手数ではございますがインタビューの3日前までにはご回答頂き研究責任者へメールにてご返信頂きたいと存じます。

- 5) インタビューは、60分程度を予定しており、基本的には事前質問用紙に記載されている質問に沿って実施致しますが自由に語って頂いて構いません。

#### 5. 倫理的配慮

- 1) 本研究への研究協力は、自由意思に基づくものであり、一度研究協力への同意をしても、いつでも撤回できることを保障致します。不参加および途中での撤回によって生じる不利益は一切ございません。

- 2) 本研究では、倫理的ジレンマを生じさせている事柄についてインタビューするため、インタビュー中に身体的精神的不調が出現し、インタビューを撤回したい場合は、いつでも中止できますので、その際は仰ってください。

- 3) 研究参加中であっても、研究への協力は撤回できるという自由意思を尊重致します。一度、研究協力に同意された後も、研究協力を撤回したい場合は、同意撤回をすることが分析する前であればいつでも可能です。分析後には、同意撤回ができないことは、了承の程よろしくお願い致します。研究参加撤回時には、送付資料の研究協力の同意撤回書にご署名頂き、研究責任者宛に送付して頂きます。同意撤回書が届いた時点で、データをすべて破棄し、使用することは致しません。

- 4) 研究参加の有無は上司へ報告しないことを約束致します。

- 5) 協力が得られる場合は「研究参加のお願い」（本書）に記載してある研究責任者のメールアドレス及び電話番号に連絡して頂き、研究の概要と研究協力の説明、インタビューのご希望日時を伺い、指定された住所に必要な書類を送付させて頂きます。

COVID-19の感染状況を鑑みて基本的にはWEBでインタビューを致しますが、インターネット環境が整わない場合には、対面で実施致します。

#### (1) WEBインタビューの研究同意の取得方法

「研究参加のお願い」を用いて研究目的と意義、研究方法とスケジュール、研究協力依頼者及び協力依頼内容、研究の同意と撤回、倫理的配慮、費用及び利益相反について書面と口頭で説明し、研究協力が得られる場合には、「研究への参加・協力の同意書」2

部にその場でサインをして頂き、すみやかに研究責任者に郵送していただきます。同意確認者氏名に研究責任者が署名をし、1部は研究終了まで保管して頂きます。もう1部は研究責任者が保管致します。

(2) 対面でのインタビューの際の研究同意の取得方法

〇〇病院の面談室にて、インタビューを実施させていただきます。その際、研究者と研究対象者の距離は2mとし、対面では座らず、30分毎に換気を実施致します。「研究参加のお願い」を用いて研究目的と意義、研究方法とスケジュール、研究協力依頼者及び協力依頼内容、研究の同意と撤回、倫理的配慮、費用及び利益相反について書面と口頭で説明し、研究協力が得られる場合には、「研究への参加・協力の同意書」の2部にサインをして頂き、同意確認者氏名に研究者が署名をし、1部は研究終了まで保管して頂き、もう1部は研究者控えとして研究者が保管致します。

- 6) 事前質問用紙へのご回答とインタビュー時間を合わせて約75分程度の時間的制約とWEBインタビューでの通信料、対面で実施した場合の会場までの交通費の金銭的負担に関しましては、WEBインタビューの場合は、指定の住所に2000円のクオカードを郵送致します。対面で実施した場合は、インタビューが終了した際に交通費と共に2000円のクオカードを直接手渡しさせていただきます。
- 7) 収集したデータ及び分析で得た情報は個人が特定できないように、符号化して管理し、分析時は符号で扱うことを徹底致します。研究終了後の5年間は、収集したデータ、分析内容は研究者施設内の鍵のかかる保管庫で保管し、鍵は研究者が厳重に管理し、5年目以降はシュレッターにて裁断し、情報漏洩を防止致します。
- 8) 本研究に研究参加して頂くことによる直接的な利益はありませんが、インタビューを通して臨床での看護実践を振り返る機会となり、看護観や倫理観を見直すことで看護実践の質の向上につながる可能性があります。不利益としては、インタビューを通して倫理的ジレンマを生じさせている事柄を語ってもらうため、身体的精神的不調を感じる可能性があります。そのため、インタビュー時は、心身の体調に合わせてインタビューをしていくと共に適宜休憩を入れながら実施致します。加えて、時間管理の徹底やインタビューを中断したい場合は、いつでも中断できます。WEBのインタビューで体調変化が起こり、受診が必要な場合には、直ちにインタビューを中止して受診をお勧め致します。対面でのインタビューの場合で受診が必要な場合には、受診に付き添わせて頂きその際の医療費は研究者が担保致します。
- 9) 本研究を学会や学術論文に投稿する際、個人を特定できない様に匿名加工の措置をし、個人情報の保護に留意致します。
- 10) 試料・情報の二次利用  
現時点では計画しておりませんが、将来このデータを利用して研究が行われる場合に二次利用をする可能性があります。二次利用をする際は改めて当法人の研究倫理審査委員会へ申請し、承認された場合のみ実施致します。

- 11) 本研究は私費により実施しており、利益相反の状況については、研究責任者が聖路加国際大学の研究利益相反管理委員会へ利益相反申告書を作成・提出し、適切な管理を受けております。

本研究についてご質問がありましたら、いつでも下記連絡先までお問い合わせください。また、研究計画書及び研究の方法に関する資料をご希望の場合も研究責任者までご連絡ください。他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内でご覧いただけます。

研究責任者：高柳 知美

所属：聖路加国際大学院看護学研究科 ニューロサイエンス看護学専攻

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

電話：090-2222-0634

メールアドレス：mailto:20mn020@slcn.ac.jp

指導教員：大久保 暢子

所属：聖路加国際大学院看護学研究科

ニューロサイエンス看護学 教授

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

電話：03-3543-6391

メールアドレス：nobu-okubo@slcn.ac.jp

## 事前質問用紙

この度は、お忙しい中インタビューにご参加いただけるとのこと、誠に感謝申し上げます。インタビューご参加前に差し支えない範囲で下記の質問にお答えいただけますと幸いです。記載方法に決まりはございませんのでご自由にお書きください。

倫理的ジレンマとは、

「信念や価値観と相反する事柄の間に自分が板挟みとなる状況」を指します。

1. 看護師として臨床で勤務した経験年数

\_\_\_\_\_年

2. 急性期脳卒中患者の看護の経験年数

\_\_\_\_\_年

次のページへお願いします。

3. 日常の臨床実践で患者に看護ケアをする際に、倫理的ジレンマを抱いている、または以前抱いた事柄（場面）はありますか。差支えの無い範囲内で具体的に教えてください。

性別	男性	・	女性
年代			
疾患名			
倫理的ジレンマを感じた事柄			

4. 倫理的ジレンマを抱いた、または以前抱いた際にどのようなことを感じましたか。差支えの無い範囲内で具体的に教えてください。

--

次のページへお願いします。

5. 倫理的ジレンマを抱いた、または以前抱いた際にどうしましたか。差支えの無い範囲内で具体的に教えてください。

例) 何もしなかった、誰かに話した、調べた、上司や先輩に報告した、誰かに相談したなど

--

6. 抱いた倫理的ジレンマに対して希望する支援内容がありますか。また、その理由も差支えの無い範囲内で具体的に教えてください。

どのような支援があると良いか	
その理由	

次のページへお願いします。

7. その他何かご意見がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

聖路加国際大学  
学長 堀内成子 様

## 研究への参加・協力の同意書

私は「急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースの倫理的ジレンマ～倫理的環境を醸成するためのニューロサイエンス看護上級実践看護師の役割～」について説明文書を用いて説明を受け、内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

説明を受けた項目は□にチェックをしてください

- 研究目的
- 研究の意義
- 研究方法とスケジュール
- 研究協力依頼者及び協力依頼内容
- 研究の同意と撤回について
- 倫理的配慮について
- 費用及び利益相反について

日付：                    年            月            日

研究参加者氏名（ご署名）： \_\_\_\_\_

同意の意思を確認いたしました。

日付：                    年            月            日

同意確認者氏名（署名）： \_\_\_\_\_

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 承認番号： 22-A002

聖路加国際大学  
学長 堀内成子 様

## 研究協力の同意撤回書

私は「急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースの倫理的ジレンマ～倫理的環境を醸成するためのニューロサイエンス看護上級実践看護師の役割～」についての研究協力を同意しましたが、この度、協力を中止することにしましたので、通知します。

本日まで得られたデータについては

- 研究に使用することを許可します。
- 研究に使用せず、破棄してください。

日付：           年       月       日

氏名（ご署名）： \_\_\_\_\_

同意撤回の意思を確認いたしました。

日付：           年       月       日

同意撤回確認者（署名）： \_\_\_\_\_

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 承認番号： 22-A002

# 急性期脳卒中患者を看護するジェネラリスト ナースが直面する倫理的ジレンマ分析のための インタビューガイド

## 1. 目的

本研究では、急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースが倫理的ジレンマを生じさせる臨床看護場面の分析することで、ニューロサイエンス看護上級実践看護師が担う倫理的環境を醸成することを目的としている。そのため、急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースにインタビューを行い、分析のデータを得ることを目的としている。

## 2. インタビュー実施方法

### (1)対象者

急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナース

### (2)対象人数

看護師経験1年目1名、2年目1名、3年目から4年目1名、5年目から9年目1名、10年目以上1名の合計5名とする。

### (3)調査方法

COVID-19の感染状況を踏まえて、WEBでの開催を主とするが、インターネット環境などの状況で研究対象者が対面を希望する場合は、対面とする。

### (4)事前準備

インタビュー前に、研究対象者には、「事前質問用紙」（資料3）に回答をして頂く。これは、インタビューを円滑に進めるためである。「事前解答用紙」（資料4）は、インタビューの3日前までに回答して頂くこととし、データで送付し、返信してもらうこととする。

1. 研究対象者の協力が得られる場合は、「研究参加のお願い(資料2)」に記載してある研究者のメールアドレス及び電話番号に連絡して頂き、インタビュー日時を設定する。
2. 研究対象者と連絡が取れたその日、遅くとも翌日には、「研究参加のお願い(資料2)」と「研究への参加・協力の同意書(資料4)」、「研究参加の同意撤回書(資料5)」を返信用封筒も入れて郵送する。また、再度、口頭にて「事前質問用紙」（資料3）をインタビューの3日前までに回答するように依頼する。なお、質問用紙は、データで送付、返信するように説明する。

## 3. インタビュー内容

- (1)看護師として臨床で勤務した経験年数
- (2)急性期脳卒中患者の看護の経験年数

- (3) 日常の臨床実践で患者に看護ケアをする際に、倫理的ジレンマを抱いている、または以前抱いた事柄（場面）
- (4) 倫理的ジレンマを抱いた、または以前抱いた際に感じたこと
- (5) 倫理的ジレンマを抱いている、または以前抱いた際の対応方法
- (6) 抱いた倫理的ジレンマに対して希望する支援内容
- (7) その他

倫理的ジレンマを抱いた際に感じたこと、倫理的ジレンマを抱いた際の対応方法、抱いた倫理的ジレンマに対して希望する支援内容

#### 4. インタビューの進め方

##### 導入

〇〇さん初めまして、本日はお忙しい中、インタビューにご協力頂き感謝申し上げます。私の声は聞こえていますでしょうか。また、見えていますでしょうか。（インターネット環境の確認をする）不具合がある際は、いつでも申し出てください。

私は、聖路加国際大学大学院看護研究科ニューロサイエンス看護学専攻の高柳知美と申します。本日は、COVID-19の感染症拡大で、日々現場の最前線でご活躍され、大変お忙しい中、私の研究にご協力いただき誠に感謝申し上げます。どうぞ、よろしく願い申し上げます。（少し雑談をし、アイスブレイクする。）

本日のインタビューは、60分程度を予定しておりますが、長くなったり短くなってもかまいません。途中でお飲みのもなども適宜おとり下さい。インタビューでは、倫理的ジレンマを生じさせている臨床看護場面をお聞きするため、言いたくないことは無理に言わなくてもかまいません。インタビューの最中であっても、インタビューは中止できます。また、ご体調が悪くなることがありましたら、いつでも申し出て下さい、その際も、インタビューは中止させていただきます。インタビューを中止しても、〇〇さんが不利益を被ることは一切ございません。

本日は、課題研究「急性期脳卒中患者を看護するジェネラリストナースの倫理的ジレンマ～倫理的環境を醸成するためのニューロサイエンス看護上級実践看護師の役割～」に関するインタビューを行わせていただきます。

事前にお渡ししている資料にご不明な点はございませんでしょうか。（不明点があるようであれば説明をする）

資料の確認をする。それでは、お手元に、事前に送付させて頂いた研究参加のお願い(資料 2)、研究への参加・協力の同意書(資料 4)、研究協力の撤回書(資料 5)をご準備頂けます

すでしょうか。

再度、研究参加へのお願いに記載させて頂いた研究の目的と意義、研究の方法とスケジュール、研究協力依頼者及びご協力内容、倫理的配慮についてご説明させていただきます。

(説明後)今の説明で、ご不明点はございませんか。(不明点があるようであれば、説明をする)

研究に参加・協力していただけるようでしたら、研究への参加・協力の同意書(資料4)2部にサインを頂けますでしょうか。1部は、〇〇さん、もう1部は研究者が保管いたしますので、インタビュー終了後、返信用封筒で後日投函していただけますでしょうか。(しばし、記載時間を取る)

#### インタビュー開始前

インタビュー中の録音、フィールドノートへの記載許可の同意を得る。

事前に送付した事前質問用紙(資料3)をお手元にご準備いただけますでしょうか。

事前に送付させて頂いた事前質問用紙(資料3)の順にお尋ねいたしますが、記載された内容以外のことを思い出されたりしましたら、お話しいただけますと助かります。

#### インタビュー開始

**※研究者が会話時に感じた研究対象者の動作、表情、声の抑揚はフィールドノートに記載する。**

- 1) 看護師として臨床で勤務した経験年数
- 2) 急性期脳神経外科看護の経験年数
- 3) 日常の臨床実践で患者に看護ケアをする際に、倫理的ジレンマを抱いている、または以前抱いた事柄(場面)はありますか。(患者の性別、年齢、疾患名、倫理的ジレンマ抱いている、または以前抱いた事柄(場面))
- 4) 倫理的ジレンマを抱いた、または以前抱いた際にどのようなことを感じましたか。感じた内容について詳細に掘り下げて聞く。
- 5) 倫理的ジレンマを抱いた、または以前抱いた際にどうしましたか。
  - 何もしなかったと回答した場合  
なぜ、何もしなかったのかを掘り下げて聞く。
  - 誰かに話したと回答した場合
    - 1) 関係者と回答した場合:関係者で話した内容を他の人に話したか、話さなかったか、その理由も掘り下げて聞く。
    - 2) 同僚と答えた場合:上司や先輩などには話したりはしませんか。しないと答えた場合は、なぜ、話さないかもしくは話せないのかを掘り下げて聞く。
    - 3) 先輩と答えた場合:上司や同僚には話したりしませんか。しないと答えた場合は、なぜ、話さないかもしくは話せないのかを掘り下げて聞く。

- 4) 上司と答えた場合：同僚や先輩に話したりしませんか。しないと答えた場合は、なぜ、話さないかもしくは話せないのかを掘り下げて聞く。
- 5) 他職種と回答した場合：同僚、先輩、上司には話したりしませんか。しないと答えた場合は、なぜ、話さないかもしくは話せないのかを掘り下げて聞く。
  - 調べたと回答した場合  
どのようなツールで調べたのか、いつもそうしているのかを掘り下げて聞く。
  - 報告したと回答した場合  
誰に報告し、なぜ、その人に報告したのかを掘り下げて聞く。
  - 相談したなど  
誰に相談し、なぜ、その人に相談したのかを掘り下げて聞く。
  - その他、上記以外の回答があった場合も、その回答にした理由を掘り下げて聞く。
- 6) 抱いた倫理的ジレンマに対して希望する支援内容はありますか。

**想定される回答例**

- 病棟内で話し合える場
- 院内・病棟での研修会
- 気軽に話せる場
- 病棟に倫理について話せるチームのラウンド
- 他職種で話せる場
- 十分な人員配置

回答した理由と詳細の内容を掘り下げて聞く。

- 7) その他何かご意見がありましたらお聞かせください。

5. まとめ

長時間にわたり、インタビューにご参加いただきありがとうございました。最後に、付け加えたいことや言っておきたいことなどはありますか。

お忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。